レッスン：SPA/No.42

テーマ：一面ピラミッド

SPA42/KE8/F7

私の兄弟・姉妹たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちはいつも主、絶対、主の聖性のなかで守られています。

以前のレッスンで現在のパーソナリティーの部屋のなかに四面ピラミッド、三面ピラミッドをどのようにして築くか、そして最後のレッスンでは四面ピラミッドのなかに五面ピラミッドを築くやり方を説明しました。

またこれら全てのピラミッドは現在のパーソナリティーがいわゆる意識的意識のセルフ・エピグノシスを現す助けになると説明しました。それが起きる時、現在のパーソナリティーは自分が地中のなかではなく地上にある四面ピラミッドの中にいるのを見るようになります。そしてその時から、現在のパーソナリティーは四つのエレメントをマスターしようと試みます。なぜなら、部屋にいる間はワークは実際には四つのエレメントのマスターではなく、ある種の同調、特に現在のパーソナリティーに付き添っているアークエンジェルたちとの同調だからです。

現在のパーソナリティーに期待される次のピラミッドは、一面ピラミッドつまり円錐です。円錐は何を意味しているでしょうか？三面ピラミッドは「絶対英知・絶対善・絶対パワーとして生」の三つの主な特質を意味します。五面ピラミッドはいわゆる人間が知っている五感、人間が無知のなかにいる間に使用する五感を意味しますが、同時にこのピラミッドは今のところ、現在のパーソナリティーの五つの真の感覚、つまり五つの超感覚を「マスターすること」をも意味します。

一面ピラミッドは何を意味するのでしょうか？それは意識の拡大を意味します；意識は限界なしにあらゆる方向、いたるところに広がります。意識はもはや一つのポイント、つまり肉体から現されるのではありません。勿論、これは地中のなかにある部屋のなかの小さな四面ピラミッドのなかにいる間は、完全には起こりません。

現在のパーソナリティーによって何が表現されるのでしょう？視覚化が表現されます。現在のパーソナリティーは遠く離れた場所にある物を視覚化し、遠く離れたところで生じていることを聞くことができるようになります。聞く場合、耳で聞くわけではありません；また目で見るのではありません。しかし、現在のパーソナリティーは何がそこで生じているかのビジョンを得るのです。なぜなら、現在のパーソナリティーは五つの超感覚を完全には使うことができないからです。現在のパーソナリティーは、あるレベルまではより意識的に五つの超感覚を使うようになります。つまりそうと気づかずに五つの超感覚を使っていた時と比較して、より意識的に使うようになるのです。

現在のパーソナリティーは五つの超感覚の使用を通じて考えています。現在のパーソナリティーがファンタジー、幻想を表現するとき、それは五つの超感覚を使っています。あるいは、何かを思い出すことによって記憶を現す時にも、五つの超感覚を使っています。現在のパーソナリティーは四面ピラミッドの中のこれら三つのピラミッドをマスターすることによって前進するにつれて、これをもっと意識的に使うようになります。

Page2

小さな四面ピラミッドのなかで現在のパーソナリティーは四つの色の光によって触れられる、あるいは包まれると述べました。前面の白の輝き、右側の赤の光、後ろ側の水色の光、左側のウルトラ・バイオレット（超紫）です。

小さな四面ピラミッドのなかには四つの異なって輝きがあり、それぞれの光、輝きはそれぞれのエレメントの輝きを意味します。赤は火のエレメント、水色は水のエレメント、ウルトラ・バイオレットはエーテル、空気のエレメントを意味します。四つ目のエレメントについてはどうでしょうか？小さな四面ピラミッドのなかにいる間は、私たちは地のエレメントに囲まれています。正面の純白はこの四つ目のエレメントを意味していません。

床についてはどうでしょうか？地のエレメントを示しているのは床だけではありません。前に述べたように、私たちはそれに囲まれています。私たちがいる部屋は地中にあります；大きな四面ピラミッドの下の地中にあります。

ですから、四面ピラミッドのなかにはこれら四つの光があり、探求者は四面ピラミッドのなかに三面ピラミッドを築くよう期待されています。そして説明したように、この三面ピラミッドの各サイドから放射される輝きの色は同じです；それは純白の光の輝きであり、実際それは根源の、原初の火を意味します。言い換えれば、「生それ自体」の輝きを意味し、現在のパーソナリティーがそれを解釈するのはどのような感覚を使用しても不可能です。ですから、今のところ、現在のパーソナリティーがその輝きを見たり、あるいは解釈することさえ不可能です。それはどのように解釈されるでしょうか？それは白の輝きとして解釈されます。

五面ピラミッドの輝きの色は、少なくとも今のところは同じです。各サイドは五感の各感覚を意味します。後になると、各サイドは別の色を帯びるようになりますが、今のところは全部純白という同じ色です。それは五芒星と同じ輝き、あるいは濃さです。あるいはあなた自身の純白の結果である輝きです。勿論、このピラミッドに関するあなたのワークの結果として、この純白の輝きは徐々に、少しづつ変化していきます。

一面ピラミッドをどのように築くのでしょうか？私たちは四面ピラミッドのなかにいて、すでに三面および五面ピラミッドを築きました。そして今、一面ピラミッドつまり円錐を築こうとしています。それは意識の拡大を示し、私たちは時間・空間の意味を超えて私たちの意識をあらゆる方面に広げようとするのでしょうか？勿論、時間をも超えますが、それは後のこととなります。

それではこのピラミッドをどのようにして築くのでしょうか？自分がその中心に立っている三面ピラミッドにフォーカスし、このピラミッドを左から右に回転させます。言い換えれば、正面にある角、頂点をゆっくりと時計回りに回転させます。しばらくすると正面には頂点ではなくてサイドが見えます；この回転速度をゆっくり高めていくとその速度のゆえにもはやサイドは存在せず、一つの面しか見えず、角もなく、各サイドが接している線も見えません。このようにして円錐が形成されました。

しかし注意する必要があります、どこまでも速度を上げることはできません。ある速度までです。なぜなら、もし速度をどんどん上げていくと、私たちの気づき、意識は速度について行くことができず、その結果、反対方向に回転しているような印象を抱くようになります。つまり、左から右に動いているを見る代わりに、右から左に回転しているように感じてしまいます。速度は個人次第であり、誰もが同じ速度ということではありません。ですから、円錐が形成されるのを見たら、速度が上がるのを止める必要があります。

Page3

さて、円錐、一面ピラミッドができました。これが一面ピラミッドを築く一つのやり方です。もう一つのやり方がありますが、それは今の段階のものではありません。一面ピラミッドの輝きはどうなるのでしょうか？それは円錐形に私たちを包むのでしょうか？前に述べたように、他のタイプのピラミッドでは輝き、光は各サイドから内側へと放射しています。

今度はどうでしょうか。何が起きるでしょうか？純白の自分自身があり、純白の五芒星があります；円錐からの輝きはどうでしょうか？ピラミッドが回転する結果として、光は外側へと向かいます。それゆえに意識の拡大があり、もはや限界を知らず意識は広がっていきます。一面ピラミッドの内側にある唯一の光は現在のパーソナリティーに関係する光だけです。一面ピラミッドの輝きは外へと向かいます。

三面ピラミッドの回転の結果として、円形の底面が形成され、それが三面ピラミッド、同時に五面ピラミッドのベースです。これら他の二つのピラミッドの角、頂点は円の内側にあります；角つまり頂点は円に接しています。ワークの結果として、探求者は混乱することなく、これら三つのピラミッドに同時にワークできるようになります。しかし、初めは別々にワークを行い、まず四面ピラミッドからスタートし、次に三面ピラミッド、次に五面ピラミッド、そして最後に一面ピラミッドのワークをします。

もし今これらのピラミッドを地中ではなく地上にある大きな四面ピラミッドのなかに置くとすると、これらのピラミッド、つまり三面、五面そして一面ピラミッドはいわゆる超意識的意識のセルフ・エピグノシスの現れに影響を及ぼすでしょう。言い換えれば、このワークは様々なレベルのこの意識を表現するようになります。しかし、現在のパーソナリティーが小さな四面ピラミッドのなかにいる間はそれは生じません。そして以前のレッスンで述べたように、探求者が大きな四面ピラミッドのなかに立つようになったとき初めて、探求者は経験に基づく知識を現すようになる、あるいは探求者が経験するようになり、それまではそれは起こりません。

**SPA 42/エクササイズ　NO.1**

静かに座り、あなたの心を騒がせるもの全てを解き放ちます…あなたは白色に包まれ、自分の形の境界を感じています… 真っ白な五芒星のなかで守られているのを見ます…

今あなたは小さな四面ピラミッドの中にいます…あなたの前には純白の輝きがあり…右側には赤い光が、後ろには水色の輝きが、左側にはウルトラ・バイオレットの輝きがあり…あなたはそれら四つの輝きから影響を受けています…

さて、今あなたはすでに四面ピラミッドのなかにあなたが築いた三面ピラミッドの中にいます…自分が三面ピラミッドのなかにいるのを見る瞬間、四面ピラミッドの輝きの色は三面ピラミッドのなかには浸透してきません…今、三面ピラミッドのなかの光は、その三つのサイド、そして五芒星、そしてあなた自身からの純白の光だけです…あなたは三面ピラミッドのなかにいて、それらのピラミッドの影響のなかにいます…

あなたは常に自分がいるそれらのピラミッドからの影響に対して自分をオープンにしている必要があります…

あなたの正面には、三面ピラミッドの二つのサイドによって作られた角度、アングルがあります…今このアングル、角が右の方に回転します…三面ピラミッド全体が回転し、あなたは静止しています、あなたは全く動きません…サイドが回転しています…そしてその動きの速度が速まっていきます…加速していきます…今やどんどん速くなっていきます…速度が非常に速くなっているので一つの円錐のように続いているように見え、あなたはその中で立っています…白い光の輝きが見えますが、それはあなたの方に向かっているのではなく、ピラミッドから離れて外側へと行くように感じられます…

今のところ、外側に向かうこの光の動きを追っていくことはできません…円錐の中、一面ピラミッドの内側には二つの輝きだけがあります、あなた自身の白の光と五芒星の白い光ですが、五芒星の光はあなた自身の純白の光よりももっと輝いています…ですから純白の光が二つありますが、それらは全く同じというわけではありません…

もし下を見ると、あなたが円形の底辺の真ん中に立っているのがわかります…今やあなたは一面ピラミッドを築きました、その高さは三面および五面ピラミッドと全く同じです…

あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願います…主の愛を同胞の人間たちに向けて注ぐことができるようになることを願います…あなたの意識があらゆる方向に放射される時、あなたの意識が主のアガピの真の現れとなるように願います…私たちは常に主、絶対、主の聖なる本質によって守られています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

あなた方からの質問です

**質問**：円錐の動きをいかにしてスタートさせる、あるいは機動力を与えることができるのでしょうか？

**Ｋ**：円錐、一面ピラミッドは他の二つのピラミッド、つまり三面および五面ピラミッドをある程度マスターした結果でなければなりません。言い換えれば、「生それ自体」の特質をもう少し現すという意味です。

三面ピラミッドは三つの主な特質を意味しますが、五面ピラミッドは五感と五つの超感覚を意味し、五つの超感覚の使用を通じて自分をより意識的に現すことによって…それはまた「生」の特質をより多く現すということですが…パーソナリティーはそうと気づかなくても過去に説明したこと、つまり「生」の多様性（多数性）の能力を現すことになります。言い換えれば、意識は様々な方向に投射され、意識は様々な方向に広がることになります。

勿論、初めはパーソナリティーはそれを認識することはできませんが、そうすることによって円錐を創造あるいは築いたことを意味し、円錐があるということは他の二つのピラミッドが回転しているということを意味します。もし他のピラミッドが回転していなければ、意識は投射されません。そのようになっています。

エクササイズではあなた方は三面ピラミッドだけを回転させましたが、後に五面ピラミッドをも回転させます。なぜ三面ピラミッドを回転させることによって一面ピラミッドを回転させたのでしょうか？なぜ五面ピラミッドについても同じようにするのでしょうか？それには理由があります。なぜなら、もしあなた方にとってそれが可能なら、それらを同時に行ったことでしょう。しかし、少なくとも今のところは、同時に多くの方向にフォーカスすることは不可能です。まず最初は三面ピラミッドを見、そのやり方を把握します。そして勿論その後、五面ピラミッドに対してそれを行い、後には二つを一緒に行います。そしてその後で、最後には全てを一度に見ることになります…部屋、四面ピラミッド、三面ピラミッド、五面ピラミッド、円錐、そして五芒星に包まれて立っているあなた自身。これら全てを四面ピラミッドのなかに見ます。

**質問**：私たちは自分の個人的なピラミッド、つまり地中のなかにあるピラミッドですが、私たちは上下さかさまになっているのですか？ということは私たちは頭を下にしてスピンしていることになるのでしょうか？

**Ｋ**：あなた方は今上向きのピラミッドを創造しています。意識としては上を向いているという気づきがないかもしれませんが、あなた方は思考を聖なる仕方で使い、上向きのモニュメント、ピラミッドを創造しています（あなた方は上向きでないにもかかわらず）。そしてあなた方は上向きのピラミッドの真の高みに到達するために、これらのモニュメント、ピラミッドのワークを行おうとしています。実際には、以前のレッスンで説明したように、あらゆる方向にフォーカスしています。なぜなら、あなた方は地のエレメントに囲まれているからです。しかし、無知にいる間は、現在のパーソナリティーは上向きであると理解しても実際には下向きになっているのです。なぜならば、私たちは自分自身を五感を使って表現しているからです。

Page 5

そうです、 これらのピラミッドのなかでワークしている時、現在のパーソナリティーは地面にフォーカスしています。しかし、私たちはそれらのピラミッドを上向きに築く必要があります。三面ピラミッド、五面ピラミッドそして円錐ピラミッドをある程度マスターして部屋の外に出る道を見いだした時、その時は前に説明したように、四面ピラミッドの頂点は部屋の外に突き出ています。それが部屋の外へとつながる道です。その頂上から私たちは部屋の外に出ます。しかし、私たちはそのレベルの現れに到達する必要があります。これが部屋のなかにある四面ピラミッドの意味です。

それは簡単でしょうか？簡単ではありません。そのためには現在のパーソナリティーの部屋のなかで行うべき沢山のワークがあります。勿論、部屋は現在のパーソナリティーの墓です。それゆえに最愛のお方は「死者はその死体を埋めたままにしておきなさい」と述べたのです。なぜなら、無知の中にいる間は「彼」によれば人間は死んでいるからです。しかし、私たちは生きている仲間に入りたいと願い、地面のなかではなく地上にある四面ピラミッドのなかにいる自分を見いだす時始めて生きていると見なされるのです。

**質問**：それでは、何が生じるかをノエティカルに知るということ以外なら、私たちはそれらのピラミッドのなかで何でもすることができ、また実際には私たちは三面ピラミッドを回転させていないのですか？

**Ｋ**：あなた方はそうするよう期待されています。あなた方はすでに無意識的にこのピラミッドを築きました。そうと認識していなくても、それを行うという意志はそれを創造します。何でれあなた方が練習するものは基礎を作り、自分のセルフ・エピグノシスを意識的に表現するにつれて、徐々に自分が築いた現実、リアリティーにもっと気づくようになるでしょう。これが、何であれ過去のワークがもたらす収穫です。

ですから、あなた方はそれを見ていなくても四面ピラミッドをあなた方はすでに築いたのであり、同じ事が三面、五面、そして円錐ピラミッドについても言えます。心配しないでください。それはそこにあります。他の人々には見えるのです。あなたがそれをどのように築くかは別問題です。それは今あなたがどのように理解しているかです。しかし、進むにつれて、あなたの気づきに沿ったようにそれを変えることができます。

ですから、ガイダンスとして何が与えられようとも、唯一の証明はその人の感じ方です。それをテストすることです。それらのリアリティーについて、あるいは「生」のリアリティーに向けて進む上で助けになると見なされたものに関して、経験知識を得る時です。　それらのピラミッドについて私はモニュメントと言いましたが、実際それらはモニュメントです。なぜなら、それらは汎宇宙的潜在意識にあるものだからです。何であれ私たちが与えるもの、例えそれがこの地球上で初めて与えられるように思われても、それら全ては諸宇宙のなかで数えきれないほど何回も与えられているのです。それらは汎宇宙的な記憶の中に、汎宇宙的潜在意識のなかにあるのです。恐らくアプローチの仕方は時代によっていくらか異なるかもしれません。なぜなら、アプローチは気づきのレベルによるからです；何であれ与えられるもの、それは現在のパーソナリティーによります。同じ事に関して二つのものが全く同じということは決してありません。ですから、そういう意味では、それが現在のパーソナリティーを通じて与えられる時、言い換えれば、それが現在のパーソナリティーを通じて提供される時には、それは初めて与えられると言うこともできます。

一面ピラミッドに関しては、以前このピラミッドは今あなた方が使うようなやり方で使用されたことはなかった、と説明しました；過去においては大いに異なった仕方で使われたのです。そこで住むためのテントして創造し、アメリカ・インディアンが使用しました。アメリカ・インディアンたちは自分たちのテントをこの形に作ったのですが、勿論、彼らの中には、能力を現すためのワークとしてこのテントを使った人々もいます。彼らは足を蓮華のポジションに組んで座り、自分をテントの形にマッチさせるために自分たちを回転させようと試みたのです。そうすることによって、彼らは過去のワークのエレメンタルに自分たちを同調させようとしました。それによって能力、パワー、ビジョンその他を得たのです。しかし、それらはエレメンタルの使用の結果であり、より高い気づきのレベルを表現していたわけではありません。ですから、一面ピラミッド、あるいは三面ピラミッド、五面ピラミッドにしても、今あなた方が使うやり方で人間が使ったことはこれまでありませんでした。確かに、四面ピラミッドは（地球上に）モニュメントとしてありますすが、私たちにとっては他のピラミッドもモニュメントなのです。例え、それらをこの地球上で人間が、あるいは五感を使って自分を表現している人間がこの地球上で目にすることがなくても。しかし、それらはモニュメントであり、人間が時のなかで築いたものなのです。

**質問**：私たちが地上で四面ピラミッドの中に立つようになったとき、そこでもまたピラミッドの頂上に到達するための新たな旅があるのですか？

**Ｋ**：勿論です。それは長い旅です。私たちはいわゆる超意識的意識のセルフ・エピグノシスの表現に向かってスタートしなければなりません。そして人が実際にその形のセルフ・エピグノシスを表現し始めた時、エゴの様々な側面を殺し始めることができるようになります。それは簡単な仕事ではありません。なぜなら、エゴの諸側面を殺し始めること、それはエゴのそれらの側面が非常に強力であり、あなたの前にリアルだからです。知識はエゴの様々な側面にもっともっとエネルギーを与えますが、同時にそのパーソナリティーは非常に強くなります。パーソナリティーのなかで啓発に向かって引っ張るその部分もまた非常に強くなります。知識の結果としてエゴの側面は以前と比べると遙かに強力になっているのですが、もはやエゴの様々な部分に直面することを恐れなくなります。

ですから、気づきは上昇しますが、同時にエゴも強まります。残念ながらそのように働くのです。ですから、ある期間勉強した後に、エゴゆえに自分は何でも知っていると考える人々がいるのです。私たちは現在のパーソナリティーの三つの体全てを調和的にワークする必要があります；私たちはバランスの取れたパーソナリティーを現さねばなりません。

**質問**：自分の三次元の身体の周りに、どのようにして二次元の五芒星を見たらよいのでしょうか？

**Ｋ**：五芒星は二次元ではありません。あなたが見るのは輝き、光です。まず、それを創造する時には線を引きます。しかし、その後でそれを光の輝きとして見ます、勿論ある厚みをもった輝きですが。光の輝きを見るとき、それは表面的なものではなく、そこには厚みがあります。そして私たちの身体全体がその輝き、光によってカバーされます。五芒星はつねにあなたと一緒でなければなりません。なぜなら、実際にはそれはあなただからです。それはあなたの本当のセルフです。五芒星は人間のフォームなのです。

EREVNA SPA 42/KE8/F7 SPA42/6END